

♥新月のマリア祈りと瞑想の会 お客様の声♥

♥参加者の方の声♥



新月のマリア瞑想と祈りの会

・立て続けに起きた災害でしたが、冠水については、怒りの感情がまだまだあふれ出ている、空港閉鎖の孤立については近所や隣合わせになった人との助け合う心とコミュニケーション不足、停電においての物資については、物があり過ぎるせいで有り難みがなくなっている、必要な分だけ買い、物や食べ物を大事するという意識の持ち方が大切だなあと感じました。

以上を心がけて生活できればと思います。マリアのシンボルを送った時に汗が吹き出してきたのにはビックリでした。(Yさん)

・夜のニュースを家族でみながら、この災害がもたらす重大さについて少し話すことができました。

瞑想している間の事ですが、途中から目の前がぱあっと明るくなった感じがしました。ずっと目をつぶっていたのにもかかわらずすごく明るくなった気がしたので、少し目を開けてみたのですが、空は朝から変わらない曇り空のままでした。とても不思議な感じがしました。でも気分も少し明るくなりました。(Tさん)

・ここ最近の災害と私たち日本人の心の状態の関係性には頷くしかないという感じでした。日本人全体のこととして考えてみると、スケールが大きすぎて途方に暮れてしまいそうになります。自分にできることは何だろう…？瞑想では急に明るく感じたり、閃光のようなすっきりした色彩の動きを感じました。宇宙の水が自分の体に流れ込んでくるのをイメージすると、いつも以上に気持ちがよかったです。(Sさん)

・とても清らかな気持ちでお話を聞いてまた癒されました。

でも人間の怒りが悪影響を及ぼすという話は人間同士だけでなく、自然、植物、地球まで関係するのだという大切な事を認識する事ができました。マリア様からは白色と茶色のマーブルの様な混じった色のお水を沢山注いで下さったイメージでした。(40代 Mさん)

・なかなか呼吸や瞑想を自分で続けられないので、このような場を作っているいろいろな方々と一緒に取り組める貴重な場を作って頂き感謝しています。瞑想中には天体としての太陽を非常に近く感じ、体もあつたかくなりました。また、〇〇の朝日と日本の

夜のコントラストをはっきり感じることもできました。テゼソングは本当に美しく、しっくりくる感じがしました。(Cさん 30代)

2019年6月3日「家族 自立と依存 自由なライフスタイル」

・自分がどうしたいか自己決定できました。

家族ってなんだろう。あの事件は責任を取ることが殺す事なのか。引きこもりから脱出導く為に正解を探し、本人の気持ちは後回し。私もインナーチャイルド受けるまでは悶々としていた。自分を客観的に見る事ができ、あの時代、あの条件で暮らしていくには仕方なかったと理解した。引きこもり、私は何ができるだろう。(Kさん 40代)

・今回の川崎の事件、もし自分の家族が被害者であったとしたら、とても『不良品』という言葉では済まされない、やり場のない怒りを感じると思います。

今出来ることは、加害者を責める前に、今回の事件をきっかけに、もしかしたら自分にも同じ事件を引き起こしかねない種があるかも知れないと省みることだと僕は思います。

日常生活の中で、問題をつい他人のせいにしてしまうことはないか、他人に決断を委ねていることはないか、自分が言いにくいことを他人に言わせていることはないか……。正直私にはこういった部分はたくさんありますね。こういった些細な日常の繰り返しの中で自分の人生のハンドルを手放したところに悪魔が入り込む余地が出てくると思います。

(Mさん 40代)

・また今日もバス事故があり、毎日何かが、起こっていて、心の問題がどんどん増えている様に思います。他人事ではなく、孤立しない様に少しでも話せる場があるといいと思いますし、また人が悩んでいる時に救う事ができればと思います。(Yさん 40代)